

2010年度 (社)日本建築学会大会記念行事  
 学生と地域との連携によるシャレットワークショップ  
 ～越前大野のまちづくりデザインを考える～

2010年9月1日～5日

ワークショップの目的

越前大野は福井県の東部に位置し、人口約4万人の城下町都市である。1575年金森長近により天守閣が築かれたことに始まり、基盤目状に街路が構成され、寺社地が町を取り囲んでいる。また南北に用水路や背割り水路が走り、地下水が豊富で清水が各地で湧き上がり、水の町として知られている。このように優れた都市設計により形成された市街地は400年前と大差なく保たれてきている。しかし、昨今の中心市街地の居住者や店舗の減少、空き家・空き地の増加を見ると、それが上手く活かされているとは言いがたい。

本シャレットワークショップでは、大野市の中心市街地である城下町地区(約87ha)を対象に、この固有の都市形態・都市骨格を活かし、大野市の活性化につながるような将来像を、全国から集まった学生と地域が連携し、地域の方々や専門家と話し合いながら実践的な計画・デザインを行い、地域に提案する。

参加者

■学生 17大学 37名

全体計画



岩本 慎平 広島大学大学院  
 岡村 洋介 工学院大学大学院  
 苅谷 智大 東北大学大学院  
 高崎めぐみ 金沢工業大学大学院  
 松山 絵美 工学院大学大学院

水とまちのネットワーク



勝目 季仁 山口大学大学院  
 川上 晋平 関西大学大学院  
 下山万理子 筑波大学大学院  
 田中 順己 福井大学大学院  
 中村 太一 大阪大学大学院

工場と工場跡地の提案



内海 康也 東北大学大学院  
 忠 快仁 首都大学東京  
 長谷川 伸 九州大学大学院  
 増井 徹 大阪市立大学大学院  
 丸山 洋平 明治大学大学院  
 三澤 穂高 神奈川大学大学院

河川と生活



荒川 佳大 東京工業大学大学院  
 木村 愛美 山口大学大学院  
 佐田 彩 大阪市立大学大学院  
 水谷 亮 日本大学大学院  
 東原 一樹 日本大学大学院  
 村中 奈々 明治大学大学院

町家1



石神絵里奈 九州大学大学院  
 河形 信和 金沢工業大学大学院  
 川島 悠都 明治大学大学院  
 斎藤 寛彰 東京工業大学大学院  
 横村 友哉 福井大学

町家2



瓜生 宏輝 九州大学大学院  
 澤田 昇平 首都大学東京大学院  
 成田 梨菜 弘前大学  
 福田 善成 福井大学大学院  
 藤原 康晃 関西大学大学院

商店街と空スーパーの活用



太田 尚子 弘前大学  
 奥村 拓也 工学院大学大学院  
 小久保豪和 福井大学大学院  
 牧野 俊崇 金沢工業大学大学院  
 横白 直也 大阪市立大学大学院

■講師 13名



















小林 正美 明治大学  
 野嶋 慎二 福井大学  
 鵜 心治 山口大学  
 野澤 康 工学院大学  
 根上 彰生 日本大学  
 有田 智一 筑波大学  
 姥浦 道生 東北大学

岡 絵理子 関西大学  
 小浦 久子 大阪大学  
 北原 啓司 弘前大学  
 高橋 潤 明治大学  
 高鍋 剛 都市環境研究所  
 小林 剛士 山口大学

■スタッフ 2名

出町 慎 関西大学  
 泉山 壘威 NPO法人まちづくり  
 デザインサポート

シャレットワークショップ(短期集中滞在型ワークショップ)  
 スケジュール

	全体 スケジュール	グループ ワーク	位置づけ	
1日目 9月1日	懇親会	まち歩き ▼ まち歩き 印象発表	まちの課題 魅力の発見	     
2日目 9月2日	レクチャ ▼ グループ 編成  エスキス	グループ ワーク	提案テーマ の決定	   
3日目 9月3日	エスキス  市民公開 中間発表会	グループ ワーク  グループ ワーク	提案内容の検証	   
4日目 9月4日	エスキス	グループ ワーク  グループ ワーク	提案模型 スケッチ 図面の作成	   
5日目 9月5日	市民公開 最終発表会	グループ ワーク	成果発表 市民と意見交換	